

Tetsuya Kumakawa

K-BALLET COMPANY

熊川版グランド・バレエ二大傑作、この秋上演決定!!

ラ・バヤデーレ
La Bayadère

熊川哲也 Kバレエカンパニー Autumn 2016

[芸術監督] 熊川哲也

11/18(金)~20(日) 東京文化会館 大ホール

劇場をかつてない驚きと感動で満たした美しき魔法の世界
熊川哲也が生んだ至高のファンタジー



Aプロ

Cinderella シンデレラ

演出・振付：熊川哲也 / 音楽：セルゲイ・プロコフィエフ / 衣裳デザイン：ヨランダ・ソナバンド
舞台美術デザイン：レズリー・トラヴァース / 照明デザイン：足立 恒

幕が開いたその瞬間から観客を夢の世界へと連れ去る神秘に満ちた空間、よく知るはずのストーリーを新鮮かつ豊潤に輝かせる活きたキャラクター造形、そして何度見ても心をわし掴みされずにはいられない、あまりにも美しい魔法の数々——。
2012年、熊川哲也のBunkamura オーチャードホール芸術監督就任記念として世界初演を果たし、この上ないときめきと感動を与えてきた至高のファンタジー、それが『シンデレラ』。
本公演では、浅川紫織、白石あゆ美、宮尾俊太郎、遅沢佑介というおなじみのキャストに加え、中村祥子がシンデレラを本邦初披露。
またパレエージェンツでも活躍中の若手新鋭・栗山廉は昨年の『白鳥の湖』に続き2度目の全幕主演に挑む！

Humakawa's Production of Cinderella Story

シンデレラは意地悪な継母と義姉たちに疎んじられ、召使いのようにこき使われる毎日を送っている。一人きりになれるひと時、亡き実母の形見を手に取り、幸せな日々を懐かしく思い起こすシンデレラ。ほどなくして訪ねてきた物乞いの老女を、心優しいシンデレラはこっそり部屋に招き入れ、水やパンを差し出す。頬に触れた老女の手のぬくもりに、シンデレラはどこか懐かしさを感じる。

継母と義姉たちがいそいそと舞踏会に出掛けていく。取り残されたシンデレラの前に先ほどの老女が現れ、瞬く間に美しい仙女へと変身する。驚くシンデレラに仙女は魔法を見せる。花瓶に生けた一輪のバラ、庭の樹にとまったトンボ、テーブルの上のキャンドル、ティーカップが妖精となって踊り出したのだ。そして、「あなたを舞踏会に行かせてあげましょう」と今度はシンデレラに魔法をかける。異次元の世界へと送られた彼女は、やがて美しいドレスに身を包んで姿を現す。「魔法が解ける真夜中の12時までに必ず戻ってくるのよ」と仙女。シンデレラはかぼちゃの馬車に乗り、星々に導かれて宮殿へと向かう……。



浅川紫織



中村祥子



宮尾俊太郎



遅沢佑介



白石あゆ美



伊坂文月



矢内千夏



栗山 廉

Aプロ 「シンデレラ」(7公演)

[東京] 10/26(水)~30(日) Bunkamura オーチャードホール [名古屋] 11/9(水) 愛知県芸術劇場 大ホール

日程 開場/開演	10/26(水) 14:30/15:00	10/27(木) 13:30/14:00	10/28(金) 13:30/14:00	10/29(土) 12:00/12:30	10/29(土) 16:00/16:30	10/30(日) 13:30/14:00	11/9(水) 18:00/18:30
シンデレラ	中村祥子	浅川紫織	中村祥子	白石あゆ美	中村祥子	浅川紫織	中村祥子
王子	遅沢佑介	宮尾俊太郎	遅沢佑介	栗山 廉	遅沢佑介	宮尾俊太郎	宮尾俊太郎
仙女	西成雅衣	山田 蘭	西成雅衣	浅野真由香	西成雅衣	山田 蘭	浅野真由香
継母	ルーク・ヘイドン	ルーク・ヘイドン	ルーク・ヘイドン	ルーク・ヘイドン	ルーク・ヘイドン	ルーク・ヘイドン	西成雅衣

Bプロ 「ラ・バヤデール」(5公演)

[東京] 11/18(金)~20(日) 東京文化会館 大ホール

日程 開場/開演	11/18(金) 13:30/14:00	11/18(金) 18:00/18:30	11/19(土) 12:00/12:30	11/19(土) 16:00/16:30
ニキヤ	矢内千夏	中村祥子	白石あゆ美	中村祥子
ソロル	山本雅也	遅沢佑介	伊坂文月	遅沢佑介
ガムザッティ	中村春奈	浅川紫織	浅野真由香	浅川紫織
フロンズ・アイドル	篠宮佑一	井澤 諒	益子 優	井澤 諒

熊川哲也の輝かしきスターダムへの道はここから始まった——
バレエ界にさらなる伝説を刻んだスペクタクル超大作、待望の再演!

Bプロ

ラ・バヤデール

La Bayadère

演出・再振付：熊川哲也
原振付：マリウス・プティパ / 音楽：レオン・ミンクス
舞台美術・衣裳デザイン：ディック・バード
照明デザイン：足立 恒

英国ロイヤル・バレエ入団直後、17歳にしてオペラハウスの観客を熱狂させたブロンズ・アイドル、その3年後に異例の抜擢を受け、プリンシパル昇格への道筋を確実なものとしたソロール——熊川哲也が自身のキャリアにおいて重要な位置を占めるこの『ラ・バヤデール』を新プロダクションとして手掛けたのは2014年、Kバレエカンパニー設立15周年のことだった。古代インドへとタイムスリップさせる荘厳な美術は圧倒的スケールを誇り、作品を熟知すればこそその視点で緻密に編まれた物語は、愛憎渦巻く人間ドラマとして精彩を放ちながら熊川独自の想いを込めたかつてない結末へと観客を運んでいく。もちろん、名場面として知られる影の王国での群舞の圧倒的な美もKバレエならではの。待望の再演となる今回は、5月『白鳥の湖』で19歳にして主演デビューを果たした矢内千夏と、彼女との共演によるアシュトン振付『ラブソディ』で注目を集めたばかりの山本雅也という、次代を担う新たな才能の抜擢にも期待が高まる!



Kumakawa's Production of

La Bayadère

Story

舞台は古代の南インド。寺院の舞姫ニキヤと高名な戦士ソロールは密かに愛し合い、神に結婚の誓いを立てる。しかしソロールを気に入った領主ラジャは、娘である王女ガムザッティとの結婚を彼に命じる。権力と彼女の美しさに抗えず結婚を承諾してしまうソロール。

ニキヤに求愛を拒絶された大僧正はソロールを呪めるため、ニキヤとソロールの関係をラジャに密告する。一方、ソロールに心惹かれるガムザッティはニキヤに身を引くよう迫るが、ニキヤも一歩も引かず二人は言い争いとなる。そしてラジャは邪魔なニキヤを亡き者とするため、毒殺を画策する。

ガムザッティとソロールの婚約の宴で悲劇が起こる。ソロールに裏切られて悲嘆に暮れるニキヤは命じられるままに祝いの舞を踊る。その最中、ソロールから花籠を手渡され喜びを感じたのもつかの間、ラジャたちによってその籠に仕込まれていた毒蛇にかまれたニキヤは、絶望のうちに死んでいく。ニキヤの死に衝撃を受け罪悪感に苦しむソロールは、幻影の中でニキヤと出会う。愚かな人間たちが引き起こしたこの愛憎劇の末路は——。



山本雅也

指揮：井田勝大 管弦楽：シアター オーケストラトーキョー 料金(税込)：S席¥14,000/A席¥10,000/B席¥8,000/C席¥6,000/D席¥5,000(名古屋のみ)
[お問い合わせ・ご予約] チケットスペース 03-3234-9999 <http://www.ints.co.jp/>
[公演に関する詳細] <http://k-ballet.co.jp/>

9/16(金) 一般発売! 名古屋のみ9/17(土)

- 〈東京・名古屋公演チケット取り扱い〉
- ◎ チケットスペース 03-3234-9999
- 〈東京公演チケット取り扱い〉
- ◎ Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 (10:00-17:30) (オーチャードホール公演のみ)
- ◎ オンラインチケット MY Bunkamura (オーチャードホール公演のみ)
- ◎ TBS オンラインチケット
- ◎ チケットぴあ 0570-02-9999
- (Pコード：シンデレラ 453-762・バヤデール 453-763) <http://pia.jp/k-ballet/>
- ◎ ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター)・0570-084-003
- (Lコード：シンデレラ 31568・バヤデール 31793) <http://l-tike.com/k-ballet/>
- ◎ イープラス <http://eplus.jp/kumakawa/>
- ◎ 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (東京文化会館公演のみ)

◎キャスト予定は2016年8月16日現在。出演者の病気や怪我など、やむを得ない事情により変更となる場合があります。最新のキャスト情報は <http://k-ballet.co.jp/company/>にてご確認ください。なお、公演中止の場合を除き、実施するすべての公演に関して、キャスト変更に伴うチケット代金の払い戻し、公演日や券種の変更は原則としてお受けできませんので、あらかじめご了承ください。◎公演中止の場合の旅費、チケット送料等の補償はいたしかねます。◎本公演は5歳以上の方の入場が可能です。但し、お席は必要です(4歳以下入場不可)。◎演出上開演後の入場は制限させていただく場合があります。

主催：TBS(東京公演)/Bunkamura(オーチャードホール公演)
CBCテレビ、中日新聞社(名古屋公演)
特別協賛：ONWARD 株式会社オンワードホールディングス
協賛：Chocottチャコット株式会社 オフィシャルエアライン：ANA
制作：K-BALLET/TBS

Photographs: Jin Kimoto / Shunki Ogawa / Hidemi Seto

- 11/20(日)
13:30/14:00
- 矢内千夏
- 山本雅也
- 中村春奈
- 篠宮佑一